

大字 小沢

会津風土記小沢村の項に「……当邑建始ノ年号並名小沢村ト
 来由不詳」とあり又下小沢は、小沢村の端村としている。新編
 会津風土記では「……南を上小沢と云、……下小沢と云、……」
 と扱っている。明治維新後の地方制度の変遷では、上小沢・下
 小沢を小沢と称し、時には上小沢と下小沢を、行政区画に定め
 (明治六年〜明治九年)られた時期があつた。明治二十二年の
 全国町村制改正により旧村名が大字名となる。上小沢村・西原
 村・下小沢村の三ヶ村を合併し小沢村とし、新田村大字小沢村
 と改称された。その後明治三十一年一月廿三日、新田村と鶴野
 辺村が合併し、新鶴村となり現在に至る。

小 沢 (小沢甲)

清水久保 (現 清水久保)

開墾後原野

亀 山 (現 亀山)

開墾業用人参作付後原野状態、一部畑

歌ノ澤 (現 歌ノ澤)

大正・昭和初期沢に水田耕作した田園の跡あり

大 平 (現 大平)

台帳は原野なるも現在は杉雑木

笹 窪 (現 笹窪)

山林、沢が深く溜池(堤)有り、現在水溜なし

押 張 (現 押張)

整理前田及び畑、整理後は全面水田

西 原 (現 西原前)

整理前田及び畑、整理後は全面水田、一部畑

西 原 (現 西原前)

全面水田

●遺跡 村西遺跡奈良・平安時期。昭和五八・試掘

村 北 (現 村北)

全面水田

●遺跡 村北遺跡奈良・平安時期。昭和五八・試掘

山ノ下 (現 押張山ノ下)

水田一部畑

●遺跡 山ノ下遺跡縄文時期。